

## 本時のねらい

・電池の特徴を調べ、シンキングツール「クラゲチャート」「ベン図」を活用して整理、分類し、日常生活で使用する電池の特徴を理解する。

## 本時における 1 人 1 台端末の活用方法とそのねらい

・「教科書を読む」「人に聞く」以外に「タブレットを活用して調べる」という選択肢も含めて、その時々での最良の手段を判断しながら学習を進めることで、問題解決能力を高める。

・シンキングツールを用いて電池の特徴を整理、分類することで学習内容を理解しやすくする。

・「本時の学習に用いる電池の写真を、各自生徒用端末で撮影して準備しておく」という宿題を出すことで、家庭においても生徒用端末を使用しながら事前学習の機会を設けた。

## 活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

・大型提示装置      ・ロイロノート

## 本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 (5分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時のめあて「さまざまな電池について、その特徴を調べ、その特徴をもとに分類することができる。」について確認する。</li> <li>・電池の写真を各自端末で撮影してきたものをロイロノートで使用するため準備する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時で使用するために、事前に生徒用端末で各家庭にある電池を撮影している。(家庭学習での端末の活用)</li> </ul>
展開 (40分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれ事前に準備してきた電池の写真のうち、1種類の電池を選び、その電池の名前や特徴を調べ、整理する。 【写真1】</li> <li>・学習班ごとに3種類の電池を選び、それぞれの違いや共通点を整理する。 【写真2】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1種類の電池の特徴を整理するのにシンキングツール「クラゲチャート」を用いて、視覚的にもわかりやすくしている。</li> <li>・3種類の電池の特徴を共通点や相違点をわかりやすく整理するためにシンキングツール「ベン図」を用いて、視覚的にもわかりやすくしている。</li> <li>・班で共通の「ベン図」を作成するためにロイロノートの共有ノートを使用し、各自の端末で同時に作業できるように工夫している。</li> </ul>
まとめ (5分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次回の授業で、整理したことを確認する旨を伝える。</li> <li>・各班の進捗状況を確認する。</li> <li>・本時の振り返りとして、「本時の学習を通して新しく知ったこと、感じたこと」をプリントに書いて、端末で写真をとり、ロイロノートの提出ボックスに提出する。 【写真3】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の振り返りを行う際に、記入したプリント全体を端末で撮影してロイロノートの提出ボックスに提出させる</li> </ul>

## 1 人 1 台端末を活用した活動の様子



【写真1】クラゲチャートを使って電池の特徴を調べ入力している様子



【写真2】それぞれの電池の特徴の共通点をグループで話し合いながら考え入力している様子



【写真3】振り返りをロイロノートで撮影し提出箱に提出している様子

## 児童生徒の反応や変容

・「電池の種類やそれぞれの特徴がよくわかった。」「図で見てわかりやすかった。」「特徴で分けてみると、それぞれがどんな電池なのかわかりやすかった。」などの意見があり、電池の特徴をただ紹介されるよりも自分で調べてその特徴を知ることやシンキングツールを使って整理する中で視覚的にもわかりやすくする方が理解しやすいという声が多かったことから、子どもたちの学びやすさに繋がっていると感じた。

## 授業者の声～参考にしてほしいポイント～

・ロイロノートのシンキングツールは、視覚的にもわかりやすく自分の考えや調べた内容を整理するのに最適なツールと感じた。活用する場面を増やし、生徒も教員も慣れていくことで、より有効に活用できるようになると感じた。

・「振り返り」をロイロノートを活用することで、生徒の理解度や状況把握ができることに加えて、プリントを綴じたファイルを改めて提出する必要がなくなることで業務短縮にもつながった。